

こちら特報部

憲法施行70年 元自衛官が問う 安保法

ミサイル落下の恐れが緊急発信された場合、頑丈な建物への避難などと呼びかけ。ちなみに二〇一六年二

九州電力川内原発1、2号機と愛媛県の四国電力伊方原発3号機だ。国会でも過去、原発への放射性物質の放出量と避難計画の必要性が及ぶ範囲な

議員(民進)も、稼働中の川内原発の原子炉が弾道ミサイル攻撃を受けた場合の

憲法施行七十年を目前に、海上自衛隊の護衛艦「いずも」が米艦艇を守る新任務に就いた。海外での武力行使を可能にする安保関連法に基づいて命じられたが、その安保法制は「違憲」の疑いを拭き取れない。「専守防衛」の国是をなし崩しに押し進め、元自衛官の一人は「これが国を守る」と憤る。佐藤大、三沢典文



「憲法に守られた」と話す元海上自衛官の西川末則さん(長崎県佐世保市)

「自分の国を守るのが専守防衛。今回はその国の船を守るという話でしょう。自分の国とは関係ないじゃないですか」

護衛艦「いずも」が米艦防護に就いた一日、長崎県佐世保市に住む元海上自衛官の西川末則さん(66)は憤った。洋上の後輩たちを思

い、「実績」へり「かも」しれないが、米軍との一体化は進むと眉をひそめる。佐賀県鳥栖市出身の西川さんは十八歳だった一九七〇年、母の勧めで海上自衛隊に入った。「三男坊で人間ができていなかったからでしょう」と笑う。手旗信号から覚え、

「いま」などの護衛艦に乗船、対馬で警戒監視に当たった。二〇〇六年に海曹長で退官。現在は、趣味を生かして無線操縦機などを販売している。

自衛官時代、命をかける覚悟で任務に就いていた。航海は短くて一週間、長いときは半年になることもあった。「いつ帰ると？」と聞く家族に「日本に一大事があつた時は命をかけて国を守らなければいけない。家を一歩出たら帰って来るとも思わぬ。帰って来たら良かったと思え」と伝えられたこともある。

憲法について深く考えたことはなかったというが、

「米軍と一体化反対」

「専守防衛を崩すな」

海自時代「9条に守られた」

九州電力川内原発 鳥機(手動)と鳥機(鹿見) 島原陸奥川内市で、本社機「おたか二世」から

想定外

THINKS 進路

第二次安倍政権が集団的自衛権をめぐる憲法解釈の見直しを進めているニュースに、心が騒いだ。「私は平和な時期に入隊して、平和に終わった。憲法九条に守られたからだ。その解釈を変えようとはどういことか」

どう考えるべきか迷い、佐世保市内の海軍墓地を訪れた。太平洋戦争が終結するまでの六十年間に亡くなった十七万人の戦没者が眠る。先人たちの墓碑の前に「この人たちの犠牲のもとで憲法九条が生まれたのは間違いない。それを曲げてはいけない」との思いが募った。

自衛隊では、手塩にかけて育てた後輩たちが頑張っている。西川さんを慕い、子ども三人を自衛官にした知人もいる。「そういう子たちが例えば南スーダンで負傷したり、戦死したら申し訳ない。日本を守るためだったら諦めもつく。でも集団的自衛権は違つ」と力を込める。「米軍の後押しをするために外に出て行って戦争するんですから。これには絶対、私は反対だ」

一五年夏、西川さんは元自衛官と明かしてフェイス

米国では、貧困層の若者が学費や社会保障費を得るために入隊する「経済的徴兵制」が進む。国立大学の学費や医療費負担が増える日本にも入隊してはならない。安保法がないと「国が守れない」と目え、若者たちがツケを払わせていいわけがない。平和憲法を貫く勇気が試されている。(洋)

2017.5.3

声上げる自衛隊OBは多くはないが、個人的に聞くところ、ほとんどの人が「(安保法に)おれも反対だけだな」と言う。自衛隊に連帯する会社に再就職している人も多く、責められない」とおもんばかる。

米軍基地もある佐世保勤務が長いが、米軍関係者とはほとんど交流はなかった。米軍基地の前を通った自衛隊幹部が「(佐世保の中で)一番いい土地を取りやがって」と吐き捨てるように言ったことを覚えている。幹部がさえ、複雑な感情を抱いていると知った。

髪と共に85年 髪にはやっぱり加美乃素

毎日のお手入れでフケ・カユミを抑え、白髪をほかに染みし、徐々に目立たなくするヘアローション

色素が髪に吸着&浸透! 髪潤ってダメージも補修!

簡単仕上げで髪に優しい!

白髪を徐々に染めたい方には!

ブラック加美乃素 NEO 150mL 税抜1,500円

レディース ダークブラウン加美乃素 150mL 税抜1,500円

加美乃素本舗

ドラッグストア、スーパー等で好評発売中!

こちら特報部

米艦防護皮切りに

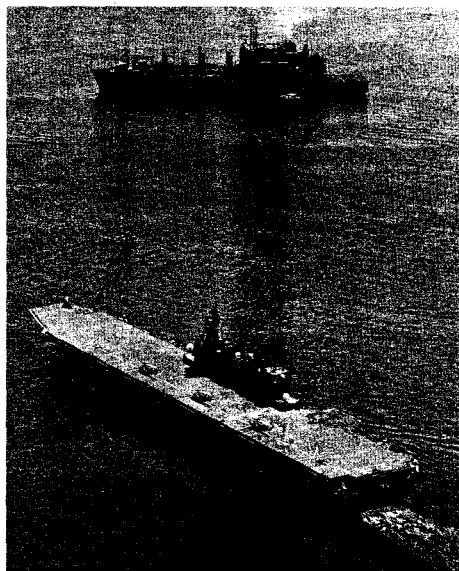
「戦争できざる国」へ

集団的自衛権の行使を認める安保関連法が昨春、施行されて以降、「戦争ができざる国」への既成事実化が進んでいる。

南スーダンの国連平和維持活動(PKO)派遣では「駆けつけ警護」の任務が付与された。だが、昨年七月に陸自部隊が「戦闘」と日報に記した状況を政府は「衝突」と言い続け、「廃棄した」と言う日報も実はあった。右往左往する政権に、西川さんは、われわれは戦闘訓練をやってきた。衝突訓練なんてやってない。日報をなくしたとか廃棄したなんて、聞いたことがない」と不信感を募らせる。

北朝鮮の弾道ミサイル発射などを受け、政府は日米の連携強化を強調。西川さんの目には国民の不安を利用した動きに映る。「日本は戦争をし、原爆を落とされ、それから平和を築いた国。本来ならアメリカと北朝鮮の仲裁をする立場はずでしよう」と冷静になる

違憲訴訟 原告6000人に



1日午前、横須賀市沖を航行する海上自衛隊の護衛艦「いずも」(左)。上は停泊中の米海軍補給艦。両艦は同日午後、房総半島沖で合流した

よう訴える。「憲法は七十一年以上、日本の平和をつくってきた。結果は出ていないじゃないですか。それをなぜ変えなければならぬのか。平和国家を広げるのが日本の役割ですよ」

実際、安保法制により「米国の戦争」に巻き込まれる懸念が高まっている。同様の危機感から、安保法制を違憲とする訴訟も全国で相次いでいる。

訴訟を担当する弁護士らでつくる「安保法制違憲訴訟の会」によると、いずれも平和的生存権が侵害されることによる損害賠償と、同法制に基づく自衛隊の出動差し止めを求めている。四月二十五日まで(起)された訴訟は十七地裁で二十一件、原告総数は五千九百五十八人。今後、鹿児島、釧路、那覇の各地裁で提訴が予定され、原告はさらに増える見込みだ。

その顔ぶれは市民や憲法学者、元判事など多様で、西川さんのほかにも元自衛官や家族が加わる。憲法観も護憲に限らない。同会共

も平和的生存権が侵害されることによる損害賠償と、同法制に基づく自衛隊の出動差し止めを求めている。四月二十五日まで(起)された訴訟は十七地裁で二十一件、原告総数は五千九百五十八人。今後、鹿児島、釧路、那覇の各地裁で提訴が予定され、原告はさらに増える見込みだ。

政権 国民の恐怖心あおる



日本の母子が乗る米艦のパネルを示し、集団的自衛権の行使容認への転換を表明する安倍首相=2014年5月、首相官邸で

同代表の杉浦ひとみ弁護士は「自衛隊を合憲と考える人、正式な手続きを踏めば、改憲を考えてもいいという人もいる。それでも、安保法制のような憲法破壊は、絶対に許してはならない」と強調する。

同法制の実施で「平和的生存権の侵害」は現実味を帯びてきた。杉浦氏は「米軍の方が自衛隊よりはるかに高い攻撃力を持つ。自衛隊を護衛に当たらせる意味はなく、本来なら政府は米

国に武力攻撃などやめるよう進言すべきだ。国民は安倍政権に全権委任したわけではない」

今回の米艦防護は、安保法制で新設された自衛隊法九五条第二項に基づく。平時から日本の防衛に当たる米艦などを防護し、米艦が攻撃された場合、自衛隊も

武器を使用して反撃できるとする内容だ。昨年十二月、政府が決定した運用指針には日米共同訓練も含まれていた。

軍事評論家の前田哲男氏は「安保法制が実施段階に入った」と指摘する。先月二十三日から西太平洋で行われた米原子力空母カール・ビンソンと、海上自衛隊の護衛艦二隻による共同訓練はその先駆けだったという。「訓練中に攻撃されれば同項を根拠に、自衛隊は反撃していただろう。もはやいやや応なしに戦争に巻き込まれかねない」

この機に乗じ、「専守防衛」をなし崩しにする動きも目立つ。自民党安全保障調査会は三月、北朝鮮の弾道ミサイルの発射拠点を破壊する敵基地攻撃能力を保有するよう安倍首相に提言すらしている。

前田氏は「専守防衛なし崩しどころか、交戦国を指して突き進んでいる」と懸念する。「安倍政権の狙いは安保法制を実施して憲法解釈を上書きし、同法制を正当化すること。しかし、憲法九条は今も現存している。国民の恐怖心をあおることで、安保法制ありおろすことで、安保法制ありきの憲法解釈を押しつけてくるが、国民は現行憲法に照らし合わせ、同法制の是非を考え直すべきだ」

話題の発掘

申し込み受付中!

ユニバーサルマナー検定3・2級 in 赤坂

日程 2017年5月31日(水)
時間 3級 10:00~12:00(9:30受付開始)
2級 13:00~18:00(12:40受付開始)
会場 日本財団ビル 2階 大会議室
東京都港区赤坂1-2-2

講師 株式会社ミライロ 岸田 ひろ美 他
受講料 3級 5,000円(税込)
2級 15,000円(税込)

とう!
-検定

の憲章を定める